

ニューヨークに導入される Kids' ISO 14000プログラム

カシオインクは、2007年1月、ラスベガスで行われたCES 2007 (コンシューマ・エレクトロニクス・ショー)にて、ニューヨークに導入されるKids' ISO 14000プログラムへのスポンサードを発表しました。

Kids' ISO 14000 プログラムについて

Kids' ISO 14000プログラムは、環境を題材にして子供たち、一人ひとりに「問題解決力、すなわち生きていく力」をつけ、未来に希望と確信を持って育ていく教育を目指した、環境教育プログラムです。

地球環境問題に取り組むひとつの手法として、子供に環境に関するマネジメントの仕方を教え、子供達同士が環境というテーマについてネットワークを形成していくというものです。

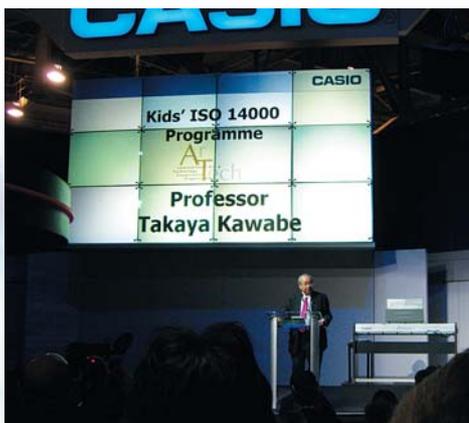
このプログラムは2000年に日本で開発され、展開されています。国連大学、国連環境計画、国際標準化機構(ISO)の支援により、国外に広がり始め、2004年からオーストラリア、韓国、中東、欧州など世界的に活動が広がっています。2006年からは国連が主導する「持続可能な開発のための教育の10年」事業計画のひとつになりました。

カシオインクの取り組み

2007年にはアメリカ・ニューヨークでもKids' ISO 14000プログラムが始まります。このアメリカでのスタートにあたり、カシオインクはアメリカで最初のスポンサーになることになりました。家庭で消費する電気を節約することによってCO₂の排出を削減するというプログラムの基本活動においても、計算が必要となります。電卓のトップメーカーとして技術的な支援を図ると共に、プログラムで使用するテキスト作成のサポート、キックオフプログラムでのカシオ従業員によるサポートなどを行います。

また、将来的には従業員がKids' ISO 14000プログラムインストラクターの資格を取り、普及活動に貢献すると同時に、お取引のあるアメリカ及び日本企業への参加を呼びかける啓発活動にも積極的に取り組んでいきます。

CES2007



スポンサードについて 発表されました

私たちはカシオの寛大なサポートを得ることができてとてもうれしく思います。世界的なトップ電機メーカーが環境の世話役の一翼になってくれるのは非常に心強く思います。

NPO/NGO国際芸術技術協力機構(ArTech)理事長、
国連大学客員教授
河邊 隆也氏



ブースにて Kids' ISO 14000プログラムを 紹介しました



マスコミの取材を受けました

ニューヨークプロジェクトにスポンサードできることを非常に誇りに思っています。「創造 貢献」ということがカシオの経営理念です。このプログラムを通じてアメリカの環境保全活動に貢献していきたいと考えています。

カシオインク Chairman & CEO
寺田 秀昭

私が紹介しました

カシオは、地域社会に対していかに貢献していくのか、また、カシオが生産する製品がどのように環境に貢献できるのかを長年に亘り考えてきました。今回のKids' ISO 14000プログラムへのスポンサードが、地球を救う第一歩になると信じています。

カシオインク Executive Vice President
John Homlish

